

「インド事業展開に役立つメディア勢力図大解明」 シンポジウムを開催

開催日： 2019年12月10日(火)
場 所： 経団連会館
プログラム： 「最近のインド情勢と日印関係」
沼畑 光毅 外務省 南西アジア課地域調整官
「インド人特派員の見た日本」
パラビ・エイヤー ザ・ヒンドゥー 東京特派員・作家
「インドにおけるマスメディアの現状、広報、広告およびメディアの課題」
帝羽 ニルマラ 純子 エンセス 代表

経済広報センターでは、会員の対印理解や日印関係強化に寄与するため、昨年夏以降さまざまな会合を開催してきた。2019年12月10日には「インド事業展開に役立つメディア勢力図大解明」と称したシンポジウムを開催し、会員等約80名が出席した。

同シンポジウムには3名の講師が登場。まず、外務省南西アジア課の沼畑光毅地域調整官から最近のインド情勢や日印外交関係について説明があり、続いて、インド系メディアとしては唯一、東京特派員を置いている英字全国紙ザ・ヒンドゥーのパラビ・エイヤー特派員が、日印それぞれの文化や考え方の違いなどについて、生活者の実感も織り交ぜたプレゼンテーションを行った。最後に、インドメディア対策などのコンサルティングを手掛けるエンセスの帝羽ニルマラ純子代表が、最近のインドメディア業界の動向、宣伝・広告を通じた社会への影響力、彼らが抱える課題などについて報告した。参加した会員からも多数の質問やコメントが出され、インド対応の難しさゆえの関心の高さが示された。



ニルマラ氏



エイヤー氏



沼畑氏

以 上